



自分の言葉でつたえる 仲間とつながる ねばり強くつづける

『大地に根ざし
未来を拓く
人間の育成』

「進んで考え、伝え合う子」
「やさしい心で、支え合う子」
「心も体も、元気な子」

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果の概要と今後の取組について

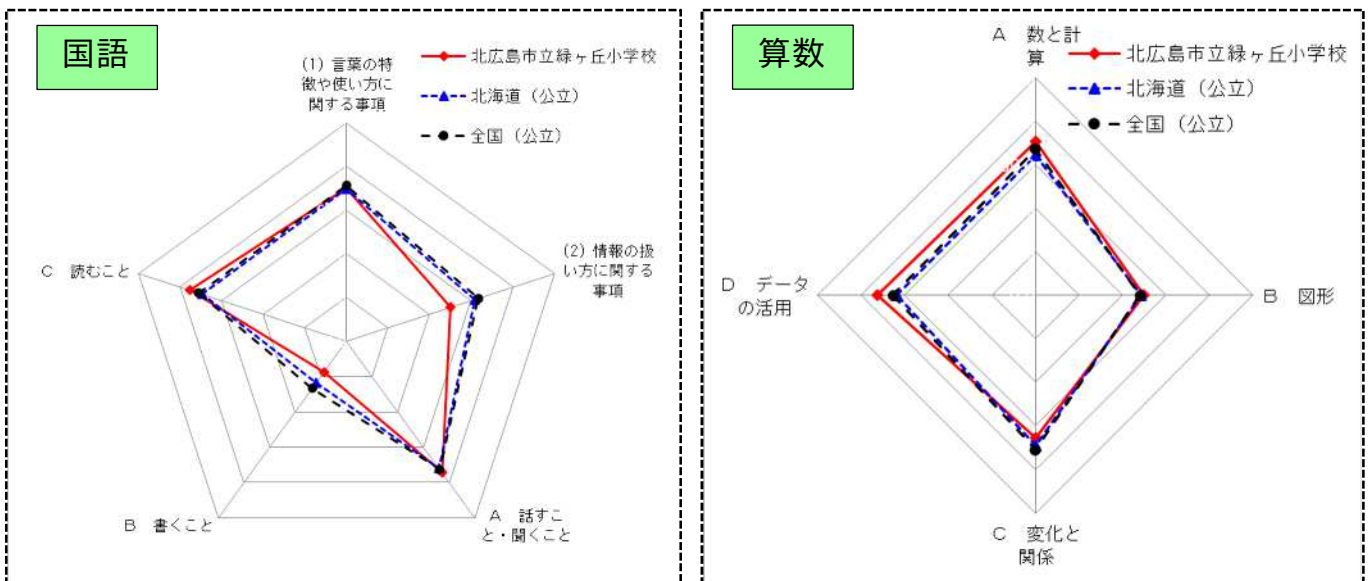
日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援をいただきまして感謝申し上げます。

さて、6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が4月18日（火）に実施されました。この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証して今後の学習指導の充実や改善等に役立てることを目的としております。以下に本校の児童の傾向と概要を示します。なお、今回の調査結果は、学力全体を特定するものではなく、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

①本校の平均（全国・道との比較）

	国語	算数
本校平均 ※全道・全国との比較	全道平均と同様 全国平均よりやや低い	全道平均より高い 全国平均より高い
全道平均	66%	61%
全国平均	67.2%	62.5%

②学習指導要領の内容の平均正答率



成果（正答率の高かった問題）

【国語】

○漢字を文の中で正しく使う問題や文章の種類とその特徴について理解しているかを問う問題（言葉の特徴や使い方に関する事項）の正答率は概ねよい結果となりました。

○インタビューに関する問題で質問の内容や伝えたいことの内容を問う問題（話すこと・聞くこと）の正答率は概ねよい結果となりました。

【算数】

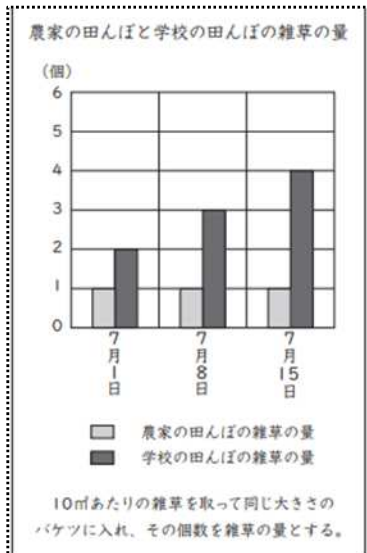
○（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて考える問題や「以上」の意味を理解しているかを問う問題（数と計算）の正答率が高かったです。

○複数の棒グラフを組み合わせて比較する問題や二次元の表から条件に合う数を読み取ることができるかを問う問題（データの活用）の正答率が高かったです。

課題（正答率が低かった問題）

国語

書くこと・情報の扱い方に関する事項に課題が見られました



【カード④】

7月20日

【農家の石山さんのお話】

- ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

【学校でできる解決方法】

- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

【条件】：学校の米作りの問題点についてグラフとカード④から、解決方法に関してカード⑤から60字以上100字以内でまとめて書くこと

左記のような表とカードそれぞれから必要な情報を抜き出して、60字以上100字以内にまとめて回答する問題の正答率が低い傾向が見られました。

＜今後の指導や改善策＞

- ・文字数を決めて内容を要約したり、自分の力でまとめを書いたりする活動を取り入れていきます。
- ・表やグラフなどの情報から必要なことを読み取り、文にまとめる機会を意識的に授業に取り入れていきます。

算数

変化と関係・図形領域に関して課題が見られました

(3) いす4きゃくの重さをはかると、7 kg でした。

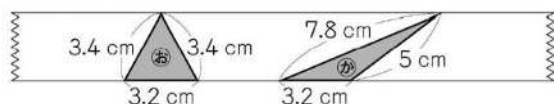
このいす48きゃくの重さは、何kgですか。

求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、

答えも書きましょう。



(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

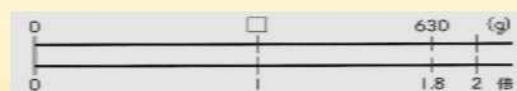
- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

(3) では伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題の正答率が低かったです。

(4) では高さが等しい三角形について底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題の正答率が低かったです。

＜今後の指導や改善策＞

- ・割合に関わる問題にとくに苦手意識があることから下のような数直線を使って量感をイメージさせ一貫した指導を行っていくようにします。



- ・図形領域に苦手意識が見られたことから操作活動を取り入れたたり、図形をもとにした課題解決場面において考えをノートにまとめたりする活動を取り入れていきます。

児童質問紙

＜肯定的な回答の割合が高かった項目＞

◎「自分にはよいところがある」や「先生はあなたのよいところを認めてくれていますか」の設問に対し、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均よりも高い傾向が見られました。

◎「国語や英語の勉強が好き」や「授業や授業時間外でPC・タブレットなどのICT機器を積極的に使っている」と回答した児童の割合が全国平均よりも高い傾向が見られました。

＜回答に課題が見られた項目＞

▼学校の授業以外の「勉強時間」が全国平均よりも短い傾向にありました。

▼友だち関係に満足していますかとの回答が全国平均よりも低い傾向にありました。

今後も子どもたち一人ひとりのウェルビーイングを追求した学級づくり、学習への理解の度合いやつまづきを適切に把握した個に応じた指導の充実に努めていきます。ご家庭でも、集中して学習に取り組める環境づくりへのご協力をよろしくお願いいたします。